

Weekly Bulletin 2020-2021



RI会長
ホルガー・クナー



ロータリーは
機会の扉を開く

静岡東ロータリークラブ
会長/相原雄治 幹事/長島秀親

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
相原雄治

第2984回例会

令和 3年 5月20日

《司会》長島 秀親 君

《合唱》「それでこそロータリー」

《ソングリーダー》山下 勝央 君

《ゲスト》国際ロータリー第2620地区

静岡第3グループ ガバナー補佐 佐橋 徹 様

《ビジター》なし

《本日のお祝い》

・お誕生日 なし

・結婚記念日 5月22日 川口 尚宜 君
6月 1日 小日 向真 君

《会長挨拶要旨》相原雄治会長

本日のテーマ ワイン・シャブリ



本日はワイン、特に白ワインのシャブリについて話してみたいと思います。シャブリとはフランスブルゴーニュ地方でも最も北に位置する地区で生産される白ワインです。

牡蠣(オイスター)にはシャブリは、シャブリが合うといわれますがなぜで

しょうか?

まずはそのテイストです。シャブリはミネラル感と酸味が特徴です。牡蠣にレモンをかけるようにして生臭さを中和させる、そのようにシャブリもその酸味で食中毒を防ぐ作用もあるこれが基本的な考えです。ただ、もう一つ知っておいてもらいたいことがあります。シャブリ地区の土壌は、キンメリジャンという特殊な土壌です。これは、1億5000万年にはこの地区は海底にあり石灰と粘土の混ざった地層でその中には

小さな牡蠣の化石が多くみられます。つまり、1億5000万年前の牡蠣から生まれた石灰質の土壌からブドウの木によって吸い上げられた養分がブドウの実に集まり、ブドウ果汁となり、ワインが作られます。取れ立ての生牡蠣に1億5000万年前の牡蠣の養分から作られたシャブリが口の中で1つになり、お互いの旨味を引き立たせる、この壮大な出会いに思いを馳せながらシャブリを飲むのも楽しいのではないかと思います。

このようにワインと料理を合いお互いを引き立たせることをマリアージュといいます。マリッジ、つまりは結婚という意味です。

また、シャブリにはグランクリュ、プルミエクリュといった1本1万円以上する高級なものからプティシャブリというクラスの1本1000円代のものがありますが、1000円~2000円代のシャブリが比較的、酸味とミネラル感が強くて生牡蠣には合うと思います。

ワインとその土地の土壌にはいろいろな話があります。興味ある方は調べてみるとよりワインが楽しめるかもしれません。

《来賓卓話》

静岡東ロータリークラブ ガバナー補佐クラブ訪問
国際ロータリー第2620地区 静岡第3グループ
ガバナー補佐 佐橋 徹 様

昨年7月より皆様方のご支援を戴き、残り任期が約2か月弱というところまで参りました。様々なご協力を有り難うございました。本日は皆様に御礼とお詫びを申し上げさせていただきます。



今、これまでを振り返ってみますと、1 昨年暮に中国・武漢から始まりました新型コロナウイルスの感染によって、すべてが振り回された1年でした。

我々の生活も様々な制約を受け、生活パターンも激変しました。最近ではイギリス株を中心とした変異株による爆発的な感染が起

り、3 回目の緊急事態宣言が発せられましたが効果不十分とのことで地域の拡大と今月末までの延長が決定しました。一方ではワクチン接種がやっと日本でも始まりまして、私は昨日 2 回目の接種を受けました。1 回目の接種後は注射部位の痛みが翌々日まで続きましたが日常生活に影響するほどのものではありませんでした。2 回目の接種は昨日午後を受けて、帰宅しお酒を控え、夕食を食べて、お風呂に入って寝るまでの間、接種から8時間位だったと思いますが、少し咳や鼻水が出てきました。いよいよコロナに感染し、免疫が頑張っ

て対抗していると思いました。だいたい1時間位に数回症状がありましたけれども、それで収まりました。それ以外によく言われております頭痛とか倦怠感というものほとんど感じませんでした。本日も元気に来ております。

早めに接種が受けられましたので、これからは打ち手の側になって皆様のお役に立ちたいと思います。この変異株による感染拡大とワクチン接種開始により、今回の新型コロナウイルス感染状況も新しい局面に入ったかのように思えますが、なかなか見通しは明るくありません。この間、もちろんロータリークラブの活動も大きなダメージを受けました。また、このことは新型コロナウイルス感染とは直接、関連はないかと思いますが RI2620 地区では、昨年7月に満を持して始まった荻原年度は、僅か3週間後の7月末に突然荻原ガバナーが辞任されて急遽、志田ガバナーが再登板されて今に至っております。大変ご心配をお掛けしました。

さらに、静岡第3グループ IM の中止に対してもお詫びを申し上げます。絶大なご協力を戴きながらも静岡県に独自の警戒宣言が発せられたこともあり、感染拡大防止の観点から残念ながら中止を決断致しました。会員の皆様には、大変、迷

惑とご心配をお掛けしまして誠に申し訳ございませんでした。特に実行委員長を快くお受けいただいた川口さん、リモート開催にリハーサルまで行ったにもかかわらず、キャンセルを許していただいた SBS メディアビジョンを紹介して下さった榛葉さん、基調講演の内容の検討、演者の選出と了承まで、それらの段取りをすべてつけていただいた杉山さん、アソシア静岡との特にキャンセルの交渉に時間を費やしていただいた大村さんには深く感謝を申し上げます。

ちなみに 2620 地区の静岡地区の IM は第1グループから第5グループまですべて中止となりました。山梨地区の第1グループはリモート開催、第2グループは中止、第3グループは5月22日に通常通りの開催を予定していると伺っています。また6月に台北で開催予定の世界大会はヴァーチャル開催となり、我々の2620地区大会も日程を5月29日のみの1日開催とし、ハイブリッド開催となりました。WEB参加をお願いいたします。

この間 静岡東ロータリークラブでも例会の形式の変更や予定されていた恒例の奉仕活動や親睦活動も中止や延期、縮小等の調整に相原会長、長嶋幹事はじめ会員の方々には多くのご苦労があったかと思ひます。大変お疲れ様でした。

昨今の新型コロナウイルス感染の状況は静岡県でもステージ3に引き上げられました。さらに、1昨日でしたか、インド株による感染者も発生したというニュースもありました。このような昨今の状況からはこん今後の見通しは全く予断を許しませんが、このコロナ禍をワクチンの手助けを借りてなんとか克服して、次年度の飛躍を期待したいと思います。これまでのご協力、ご支援に深く感謝いたします。

《スマイル報告》

望月 康弘 君 佐橋ガバナー補佐のクラブ訪問に感謝してスマイルします。

佐橋 徹 君 お陰様で静岡第3グループガバナー補佐を務めあげることができそうです。至らぬことばかりでしたが、皆様のご支援・友情に深く感謝致します。有難うございました。

(会報作成 鶴見 展哉)